

令和元・2年度地区指定研究協力校
「学力向上」研究公開
霧島市立日当山中学校

1 研究主題

思考力・表現力を高める授業実践
～主体的・対話的で深い学びの工夫を通して～

2 研究発表

霧島市立日当山中学校では、令和元年度から2年間にわたり、地区研究協力校として、「思考力・表現力を高める授業実践」を研究主題に、研究・実践に取り組んできました。

研究発表では「主体的・対話的で深い学びの工夫」を授業改善の視点として、生徒の学びの姿から、思考力・表現力の発揮を見取ることを目指してきた取組について、「学びの組織活性化推進校」としての取組と併せて説明がありました。

特に、全教科で共通の目指す生徒像を基に授業づくりを行い、同じ視点から全教員で授業研究を蓄積してきたことが成果として紹介されました。

なお、研究内容・具体的な取組は以下のとおりです。



【全体会における研究発表の様子】

【思考力・表現力を高める取組】

- 1 「主体的・対話的で深い学び」の工夫した授業改善
- 2 3領域「主体的な学び班」「対話的な学び班」「深い学び班」に分かれての授業実践
- 3 一人1回以上の授業提供
- 4 空き時間等を利用した授業参観
- 5 全職員参加による研究授業・授業研究の実施(学期1回)

【研究を検証する際の授業実践・検証の視点】

主体的・対話的で深い学びの工夫した場面で、生徒の思考力・表現力が発揮されているか。～生徒の学ぶ姿を見取って仮説検証する～

3 公開授業

研究を具現化した検証授業として、数学科と英語科の授業が公開されました。数学は「図形の性質の調べ方」の全18時間の18時間目を東大志教諭が行いました。

既習事項を効果的に活用させたり、グループでの話し合い活動を通したりして、多様な考えを表出したり、より適切な表現に気付いたりしながら自分の言葉で論理的に説明することができるよう指導方法を工夫した授業でした。

英語は「Presentation3 好きなこと・もの」の全5時間の4時間目を八汐 清歌教諭が行いました。

お互いに作成途中のスピーチ文を様々な観点から質問し合い吟味し合うことで、伝える相手のALTへの相手意識を大切にしながらスピーチ文を改善していくように学習活動を工夫した授業でした。

どちらの授業も問題に真摯に向き合い、思考を巡らせる生徒の姿が印象的であり、まさに主体的で対話的な学びの姿が見られた公開授業となっていました。



【数学科2年：授業の様子】



【英語科2年：授業の様子】

4 授業研究会

数学科、英語科に分かれて行われた授業研究会では、学びの組織活性化推進プロジェクト実践校としてこれまで日当山中学校で行ってきた協議方法でワークショップ型の研究協議が行われました。

参加者は、授業参観で見取った学びの事実を基に、生徒の学びと指導の関連を明らかにする協議を行いました。

また、学びの事実を分類・整理したり、見出しを付けたりする思考プロセスは「思考力・表現力を高める授業実践」を行う上で参考となる研修になっていました。

以下は、参加者の感想からの抜粋です。



【授業研究会の様子】

【「研究発表」に関する感想から】

思考力・表現力を高める授業実践の考え方がシンプルに示されるとともに、全教科・全教員で目指す生徒の姿を明確化・共有化している点が参考になった。

【「公開授業」に関する感想から】

生徒から「勉強できるようになるぞ」「授業に集中するぞ」という意気込みを感じた。友達と協力して学ぼうとする姿や積極的に質問して考えを深めようとする姿が印象に残った。

【「授業研究会」に関する感想から】

ワークショップ型の授業研究会では、日当山中で積み上げている生徒の姿から授業改善を図るファシリテートの手法を体験できて参考になった。自校の授業研究にも取り入れたいと思った。